

朝来市立生野小学校・生野中学校の実践

1 活動のテーマ

歴史と伝統と文化の継承と 明日の生野を創造する力を育む
 ～歴史産業を通したふるさと意識の醸成～

【身に付けさせたい力や心情】

- 「ふるさと生野」を自分の言葉で語ることのできる子
- 自らを表現する力をしっかりと身に付けた子
- あいさつのしっかりできる子
- 「毎日、学校に来ることが楽しい。」と言える子

子どもの実態

- 素直で明るく人や地域が好きなお子が多い
- 地域行事等に積極的に参加できる
- 自ら探究する力が弱い
- 人間関係を築くことが苦手である

地域の実態

- 産業遺産が多く残る歴史ある町
- 豊かな自然に恵まれている
- 学校の取組に協力的
- 全国から人や物が集まる時代ではなくなっている

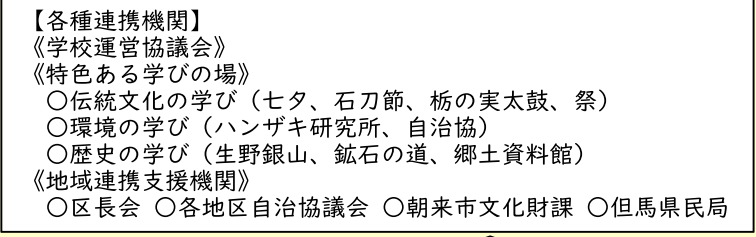
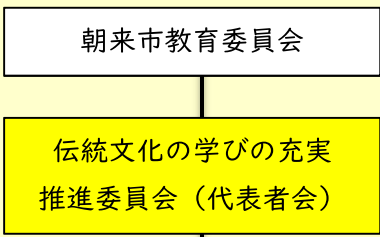
2 地域の素材

日本遺産の産業遺跡
 生野銀山、神子畑選鉱場跡
 銀の馬車道・鉱石の道

ハンザキの棲む河
 兵庫県の分水嶺、豊かな自然、オオサンショウウオ

受け継がれる文化
 柘の実太鼓、生野踊り、七夕、江戸からの伝統

3 効果的に実施するための体制整備



| 委員会名 | 体験学習調整委員会 | 各教科カリキュラム検討委員会 | 合同推進体制検討委員会 | 特別支援委員会 |
|------|--|---|--|---|
| 概 | <ul style="list-style-type: none"> ○体験学習調整 ・ふるさと体験学習の洗い出し ・学年に応じた目的やねらいの整理 ・9年間の計画作成 | <ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと教育につながる学習の調整 ・各教科の関連単元の洗い出し ・効果的な横断学習のための整理 ・9年間の計画作成 | <ul style="list-style-type: none"> ○合同学習の調整 ・PRポスターの作成 ・合同学習が可能な活動の検討・計画 ・発表への計画作成 | <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級に係るふるさと学習の確立 ・交流学习の確立 ・合同授業の実施 |

4 教科等横断的カリキュラム

【取組を通して身に付けさせたい力や心情】

- ◇ 伝統文化を受けつぐために、多くの人と関わりつながっていくことが大切であることに気付く態度
- 地域の文化・自然遺産に直接触れることで、ふるさと生野の今後の発展のために自分にできることは何かを考え行動していく力
- ふるさと生野を愛する心情

| 学年 | 教科 | 伝統文化 | 産業 | 歴史 | 自然 | その他 | |
|----|-------------------------------|-------------------------------|---|----------------------------|-----------------------------|--|--|
| 中3 | □ わたしたちと家族・家庭と地域 (家庭科 3時間) | ◇ □ 生野踊りを踊ろう・発表会をしよう (体育 4時間) | ◇ □ 生野銀山を訪問し、ふるさとの歴史や産業について学習する (総合 9時間) | | | | |
| 中2 | ◇ □ 江戸時代の産業の発達 (社会 2時間) | | ○ □ 生野書院・銀山町ミュージアムセンター (旧浅田邸)・志村喬記念館 (甲社宅) で歴史講座や茶道体験 (総合 10時間) | | ○ □ ハンザキ研究所出前授業 (総合 5時間) | | |
| 中1 | ◇ □ 動物の特徴と分類 (理科 9時間) | | ◇ □ 鉱石の道をたどり、かつての産業が果たした役割などを学習する (総合 15時間) | | | | |
| 小6 | □ わたしの大切な風景 (図画工作時間) | ◇ □ 生野銀山へ遠足に行こう (5時間) | ○ 詩吟に親しもう (2時間) | ◇ □ 鉱石の道について調べよう (総合 24時間) | | | |
| 小5 | ◇ □ 古典芸能の世界 -語りて伝える- (国語 1時間) | | ○ □ 生野の祭りについて調べよう 発表しよう (総合 35時間) | | | ○ 田植え (総合 2時間) ○ 稲刈り (総合 3時間) ○ 収穫祭 (総合 3時間) | |
| 小4 | ○ 県内の文化財と年中行事 (社会 6時間) | | ◇ □ ふるさと兵庫について調べよう・考えよう (総合 16時間) | | ◇ □ 日本の遺産について調べよう (総合 25時間) | | ◇ □ カネディアンアカデミーとの交流 (総合 10時間) |
| 小3 | □ わたしたちの住んでいる市のようす (社会 17時間) | | ◇ □ 生野銀山や石刀節について学ぼう (総合 17時間) | | | | ○ 田植え (総合 2時間) ○ 稲刈り (総合 3時間) ○ 収穫祭 (総合 3時間) |
| 小2 | ○ □ とび出せ! 町のたんけんたい (生活 24時間) | | ○ □ 橋の実太鼓に挑戦しよう (総合 11時間) | | □ 昔の道具を調べよう 発表しよう (総合 26時間) | ○ □ ハンザキについて学ぼう (総合 21時間) | □ 新しいこといっぱい (生活 8時間) □ これまでのわたし... (生活 24時間) |
| 小1 | □ いくぞ! がっこうたんけんたい (生活 10時間) | | ○ □ ふるさと生野について調べよう・考えよう (総合 27時間) | | | ○ □ 町のすてきつたえたい (生活 12時間) | ○ みんな生きている (生活 8時間) |
| 小1 | | | | | ○ なつ・あき・ふゆとなかよし (生活 34時間) | | |

- ### 【教育活動全体で年間を通して育みたい力】
- 夢中になって学習や読書に取り組む力
 - しっかりと身に付いた、自らを表現する力

5 カリキュラム作成の工夫

実態の把握

*アンケートで子どもたちの意識調査を実施した。また、学校運営協議会を通じて地域の様子について情報収集した。

身に付けさせたい力の設定

*小中それぞれの担当者が実行委員会に持ち寄って検討し、カリキュラム表に明記することとした。

活動の洗い出し

*カリキュラム検討委員会でふるさと学習に関連する学習を洗い出し、身に付けさせたい力を意識して整理した。

学びのつながり

*体験学習調整委員会で、ふるさと学習の整理と学びの系統の検討を行い、9年間を見通した学習の体系を作成した。

学びの還元

*地域に学び地域に返すことで、学習のさらなる深化を図る。共同参画、ボランティア活動を推進していく。

6 小・中学校の連携

児童・生徒の連携

ハンザキ学習

ハンザキ研究所の出前授業を受講した中学2年生が、ハンザキ学習を控える小学3年生に出前授業を実施。



栃の実太鼓

小学校の音楽会リハーサルに中学生が参加。栃の実太鼓発表に向けた舞台を見学し、自身の体験を踏まえたアドバイスを送る。



教職員の連携組織

○小中連携の既存の組織とその経験を活かし効率的に連携

□小中交流部会
体験入学・出前授業などの交流事業 → 体験学習調整委員会

□学習指導部会
相互研究授業、授業づくり、学習規律など → 各教科カリキュラム検討委員会

□生活指導部会
生活実態調査、授業規律、合同あいさつ運動など → 合同推進体制検討委員会

□特別支援教育部会
授業のUD化、教育相談、通級の情報交換など → 特別支援委員会

7 地域人材との効果的な連携

《地域人材》石刀節伝承者、栃の実太鼓伝承者
生野踊り伝承者、ハンザキ研究所
地域自治協議会、朝来市文化財課
各土資料館ガイド、生野銀山ガイド

《依頼方法》実施時期について計画と共に教員が依頼
《連携の工夫》



教育課程における学習の位置づけや、子ども達に身に付けさせたい力、当日の学習の狙いを明確にし、地域人材の方と共通理解を図った。

実施後に、子どもからのお礼や感想の手紙を送付するとともに、作成した掲示物や発表の写真を撮って様子を伝えた。

音楽会や文化祭など発表の機会を利用し、意欲の高揚と学習の定着を図った。

8 活動の様子

生野の自然



中学校のお兄さん、お姉さんがハンザキのクイズをしてくれたよ



ハンザキ
いるかなあ

ぬるぬるだと思ってた。すべすべして気持ちいい

生野の祭り



地域の人に、生野の3つの祭りの話を聞いたよ



うちの地区の踊りと、ちょっと違うな



中学校のお兄さんと郵便局の七夕飾りをしたよ



お祭りそれぞれに由来があるんだね

中学校は、体育祭で生野踊りを披露。地域の人と一緒に踊る予定が、コロナで断念することに。

生野では紙衣を飾るよ

産業遺産

鉱石の道・銀の馬車道



明延で採鉱された鉱石は

岩肌が剥き出しですごい迫力



神子畑で選鉱され

日本初の
鑄鉄橋なんだって



生野へ

銀の馬車道は当時の
高速道路です



生野の銀とともに
銀の馬車道で飾磨港へ



精錬され
鑄塊となり



トロッコ
軌道跡が
走る川辺
はお勧め
スポット

生野の街と資料館



この建物、江戸時代からあるんだって

小学生は「生野の偉人発見」で訪れます。



小学生の時には気が付かなかったよ

中学生は「ふるさと生野再発見」で訪れます。



浅田貞次郎さん、すごい

生野銀山



開坑は807年!?
それ平安時代…



こんなところを掘り進んだのか



これは大変な仕事やな……

伝統芸能

石刀節



リズムはゆっくり。よく響くように石刀を打つ……。難しい

枡の実太鼓



心をひとつに!

中学校のお兄さんお姉さんが、練習のときアドバイスをくれたよ

9 子どもの変容

小学校

数々の産業遺産に恵まれた地域だが、逆に身近にありすぎて、学校で取り上げるまでは意識が希薄で知識もあまりない。ふるさと学習を通じて、これが大きく変化し、ふるさと意識が醸成されていった。

興味・関心の変化

【学習前】

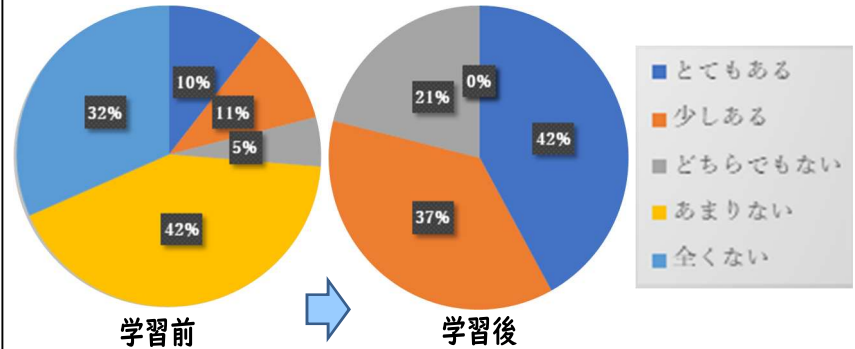
- ・偉人を誰も知らないから興味ありません。
- ・興味がないこともないけどどんな人か分かりません。

【学習後】

- ・この人たちがいなかったら、今の生野はないかも。
- ・偉人について調べたらどんどん興味がわいてきて楽しくなりました。

ふるさと学習アンケート

生野の偉人に興味はありますか



中学校

小学校で訪れた場所を再訪することで、前に訪れたときには気づかなかった発見や学びがある。施設ガイドさんの話も、小学生と中学生では内容が異なってくる。既訪施設における学習が、より深い学びに結び付いていった。

施設再訪時の感想より

小学生の時に来たことのある施設だし、最初は「何で同じ所に？」と思っていました。でも実際に行ってみると、今回は気づかなかったことや、新しい発見が色々あって面白く、来て良かったと思いました。

ふるさと学習を終えて

中学校3年間でふるさとに関する様々な学習をして、生野町や朝来市に関する新しい学びがたくさんあったので良かったです。この学習をこれからも忘れず、地域に感謝しながら生活していきたいです。

ふるさと生野について

私が今まで知っていた知識は、とても浅いものだったのかなと思いました。自分の住んでいる町だけど、まだまだ知らないことがたくさんあります。生野で生まれ、生野で育ったことがとても嬉しいです。

まとめ

9年間の「ふるさと学習」を考えることで、小中がお互いの学習内容を詳しく知ることができ、それを踏まえた実践が可能となった。再訪する施設では学年に応じた切り口を見せることで、より深く、強い印象を与えることができる。地域の方々への感謝の気持ちを込めて、月に1回ボランティア活動を行う「19（生野）の日」がスタートした。今後も小中の、また、地域との連携を密にし、取組を続けていきたいと考えている。